

市民生活に欠かせない公共施設

斎場（火葬場）・し尿処理場整備のこれから

■ 市役所公共施設整備推進課
☎ 055(948)1451

斎場（火葬場）

1. 新たな火葬場の必要性

供用開始から33年が経過した長岡斎場。施設や火葬設備に老朽化が目立ち、修繕や維持に係る費用の増加や、慢性的な駐車場不足など、多くの課題を抱えています。また、近い将来において火葬対応能力を超えることが予想されていることから、火葬需要に的確に対応できる機能を有した、新たな火葬場の整備が求められています。

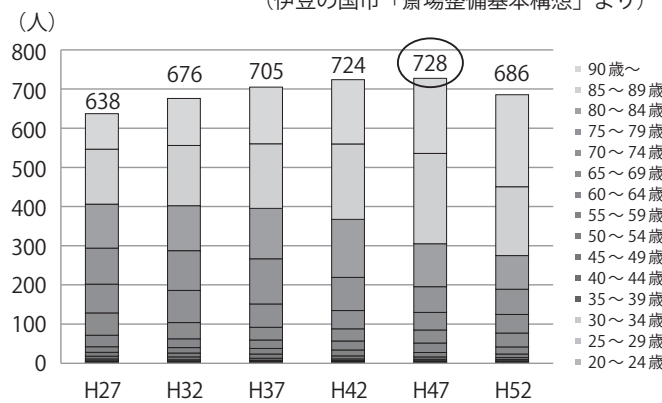


長岡斎場

■ 20年後には、現在の約1.5倍

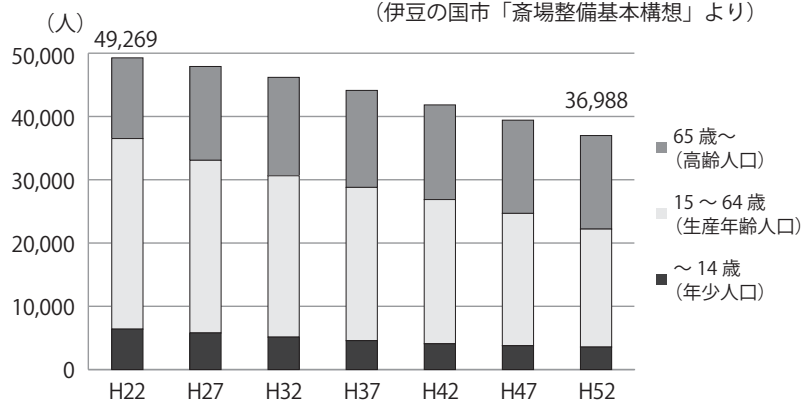
平成25年度の市内の火葬数は519人でした。将来推計人口から予測される死亡者数は、平成37年に705人、平成47年には728人となっており、現在のおよそ1.5倍の火葬が行われると推計されています。

伊豆の国市における死亡者数の推計値（5年間の平均値）
（伊豆の国市「斎場整備基本構想」より）



伊豆の国市における将来推計人口

（伊豆の国市「斎場整備基本構想」より）



2. これからの取り組み

平成28年度中に、建設地の決定を計画しています。建設地選定までの手順は、次のとおりです。

候補地選定に関する、
市民会議（仮称）との協議
（意見聴取）…5～7月

先進地視察（区連合会）
および講演会（※）の開催
…7月上旬～中旬

建設候補地の選定
…7月下旬

関係区との建設合意に
向けた協議…8～10月

関係区との建設合意…11月

建設地の決定…12月

（※）火葬場を考える講演会
とき 7月6日（水）19時～21時
ところ 葦山時代劇場 映像ホール
講師 武田至工学博士
講演内容
「新たな火葬場の整備に向けて」

し尿処理場

1. 新たなし尿処理場の必要性

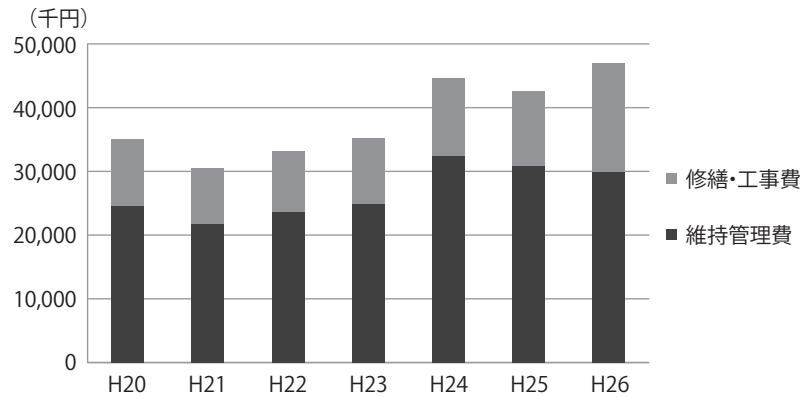
葦山、長岡の両し尿処理場は、定期整備を行い適正処理の確保に努めているものの、葦山し尿処理場は39年、長岡し尿処理場は26年が経過し、老朽化が進行している状況です。今後、老朽化による設備・機器の補修などが増大し、財政負担が懸念されることや、よ

り効率的な処理を図ることから、新たなし尿処理場の整備が求められています。（大仁し尿処理場は平成27年度に廃止）

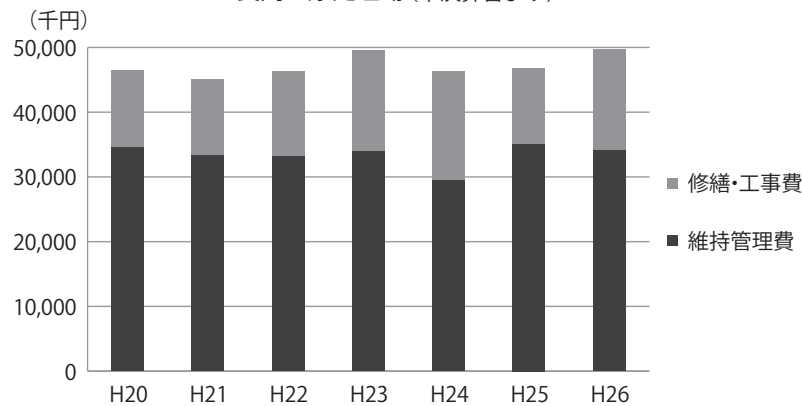
■ 維持管理費は年々増加傾向

葦山し尿処理場にかかる費用は平成21年度からの5年間でおよそ1.5倍となっています。また、長岡し尿処理場は大仁し尿処理場との統合により、維持管理費の増加が見込まれています。

葦山し尿処理場（市決算書より）



長岡し尿処理場（市決算書より）



2. これからの取り組み

平成28年度中に、建設地の決定を計画しています。建設地選定までの手順は、次のとおりです。

施設整備方法の検討（※1）
…4月～6月

候補地選定に関する、
市民会議（仮称）との協議
（意見聴取）…5～11月

先進地視察（区連合会）および
し尿処理場見学会（※2）
…7月中旬～下旬

建設候補地の選定
…8月下旬

関係区との建設合意に
向けた協議…11～1月

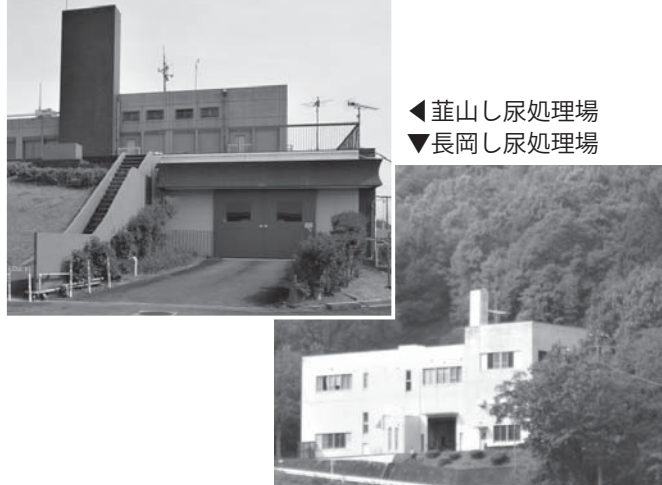
関係区との建設合意…1月

建設地の決定…1月

（※1）既存施設の延命化を含め、新たな処理施設の整備方法について検討します。

（※2）し尿処理場見学会
～夏休みの自由研究に
いかがですか？～

とき 7月下旬
ところ 葦山し尿処理場
詳細は7月号でお知らせします。



◀ 葦山し尿処理場
▼ 長岡し尿処理場